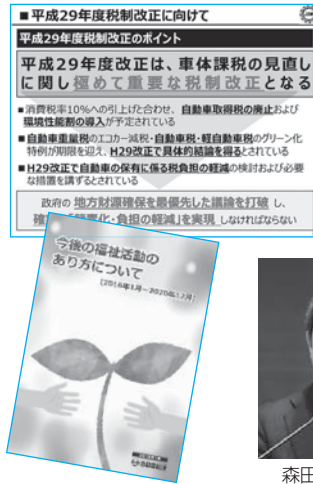


中間経過報告

中間経過報告として、「運動の経過報告」を郡司事務局長、「2016年度 税制改正に向けた取り組み経過報告」を中川副事務局長、「2015年度 特定（産業別）最低賃金の取り組み結果報告」及び特別報告「自動車総連 今後の福祉活動のあり方について」を森田組織局長、「中間会計報告」を舟橋企画総務局長が報告、本田会計監査により監査報告が行われ、いずれの事項も承認された。

今後の福祉活動のあり方について



2016年度
税制改正に向けた
取り組み経過報告



郡司 事務局長



中川 副事務局長



森田 組織局長



舟橋 企画総務局長



本田 会計監査

議事

第1号議案

2016年総合生活改善の取り組み方針(案)

第1号議案「2016年総合生活改善の取り組み方針(案)」について、富田副事務局長、山口副事務局長より提案し、方針案は全会一致で採択された。

質問・意見

三菱自動車ふそう労連 永瀬 中央委員



本年の取り組みについて、継続的に賃金改善分に取り組むことの重要性和、自動車総連全体の一体感を重視した、底上げ、格差是正に繋げることの必要性については十分に理解する。しかし、労連加盟組合に目を向けると、販売部門においても車体部品部門においても、非常に厳しい経営実態にある。加盟組合が、今回の取り組みにおける重要な位置付けである底上げ・格差是正にどのように取り組めば結果に結びつけることができるのか、自動車総連本部としての考えをお聞かせいただきたい。

質問・意見

日産労連 佐野 中央委員



「WIN-WIN最適循環運動」に関して質問したい。労連内の部品部門においても、中小企業は大変厳しい状況に直面している。今こそ産業全体で中堅・中小の底上げに向けて取り組んでいくべきと考える。今後、各部会での議論への参画や、労連として検討を進めるにあたり、この運動が、これまでの総連活動とどのような点で異なり、どのような運動にしていきたいのか伺いたい。

本部答弁 富田 副事務局長



自動車総連全体の底上げは、個々の単組の取り組みの積み上げなくして実現は出来ない。それぞれの単組が、自社の置かれた状況を見据えた上で人材確保の必要性、生産性向上に対する成果配分など様々な観点を根拠に、企業内最低賃金、直接雇用の非正規労働者の処遇改善を一体的に要求し、獲得項目を増やし、金額を引き上げ、対象を広げる事で、職場全体のモチベーションの維持・向上と企業の競争力強化に繋げてほしい。

加えて、格差を是正していくには、根元からの高さの重視した個別ポイント絶対水準の取り組みが必要である。苦しい中だからこそ自社の競争力強化に取り組む必要があり、全体で賃金引き上げに取り組む今だからこそ、自社の賃金水準を今後どのようにしていくのか、労使で論議し、実現に向けた道筋がつけられると考える。

自動車総連の要求基準の基に、全員が「ひとかたまり」となる事で、共闘効果を最大限発揮し、結果に結びつけていきたい。様々な機会を通じて、交渉状況の共有や交渉に必要な情報提供など最大限サポートしていく。

本部答弁 山口 副事務局長



「WIN-WIN最適循環運動」が、過去の活動と異なるのは、大きく3つの点である。

一つ目は、これまでの「付加価値を流出させない取り組み」は、自動車産業全体の運動に繋げることが難しかったが、今回は始める段階から総連全体での運動として進めることを明確に打ち出し、具体的な行動の実施にこだわって、3年間の集中期間を定め、取り組んでいくこと。二つ目は、労働組合としての取り組みに留まるのではなく、産業全体の運動に繋げるべく、経営者はもちろん、関係先を巻き込んだ運動になるように、経営者団体、関係省庁をはじめ、社会全体にうねりを作っていくように幅広く働きかけを行っていくこと。三つ目は、従来に無く強い問題意識を持って、中堅・中小企業に対して取り組んでいきたいということ。

自動車産業を支えていただいている、労働組合が無い企業に対しても少しでも良い影響が及ぶように運動を進めていきたい。